

NANTAN

119たより

NANTAN
FIRE DEPARTMENT
2014

No. 5



養父市立養父小学校 4年生社会見学

災害状況



10月20日現在

- ・火災… 32件
- ・救急… 2,463件
- ・救助… 47件

主な内容

- 住宅用火災警報器に関する調査結果 2・3
- ◆ 朝来市・養父市一斉避難訓練 4
 - ◆ 防火ポスター入選発表 5
 - ◆ 消防写真館・消防白書
 - 火災調査レポート 6・7
 - ◆ お知らせ 8

住宅用火災警報器に関する調査結果



▲住警器の点検の様子

消防本部では、住宅用火災警報器（以下、「住警器」という）に関する住民の皆さんの意識と設置状況及び維持管理状況を探るため、昨年度に続き養父・朝来の両市でアンケート調査を実施しました。

今回は両市内の居住者800人を対象に実施したところ、351人（43.9%）から回答があり、82.6%という設置率が得られました。この設置率のほか、住民の皆さんのが住警器に関してどのような意識を持つておられるかなどを把握し、今後の住警器の適正な維持管理の推進と、住宅防火対策の推進に役立てたいと考えています。

平成26年6月1日時点の全国の設置率79.6%と比べると3ポイント上回っています。

また、その設置率以外に「まだ設置していないが、すぐに設置したい」と答えた人が20人（5.7%）、「リフォームなどの機会を待って設置したい」が23人（6.6%）あり、既に設置している人を合わせれば、今後の設置率は94.9%を見込むことができるようになります。

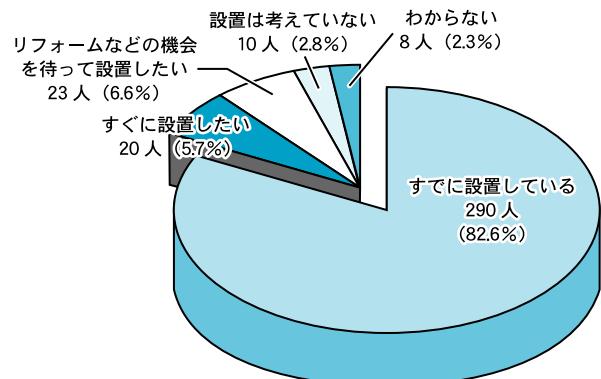
なお、各地域別の設置率をみてみると、一番高かつたのが生野の92.6%、次いで和田山の90.9%以下、山東が89.3%、八鹿が80.7%、朝来が79.5%、大屋が75.0%、関宮が72.2%、養父が70.7%でした。（表1参照）

一方、『住警器をまだ設置していない』今後も設置は考えていない」と答えた人が10人（2.8%）ありました。が、設置を考えていない理由について尋ねると、「設置効果がわからぬいので」「自力では設置できないので」「借家・賃貸のため自分で設置できない」その他の意見として「壁とか天井に穴を開けるのが嫌だから」という人もありました。

表1 地域別設置数

区分	合計	八鹿	養父	大屋	関宮	生野	和田山	山東	朝来
回答数	351	57	58	20	18	27	99	28	44
設置している	290	46	41	15	13	25	90	25	35
設置していない	61	11	17	5	5	2	9	3	9
設置率	82.6%	80.7%	70.7%	75.0%	72.2%	92.6%	90.9%	89.3%	79.5%

図1 住警器の設置状況は



今回の調査結果を基に、「わから
ない」「今後も設置は考えていない」
と答えた人たちに対しても、両市の
広報紙やケーブルテレビなどを通じ
てさらなる推進活動を展開し、普及
に努めたいと思います。

広報紙やケーブルテレビなどを通じてさらなる推進活動を展開し、普及に努めたいと思います。

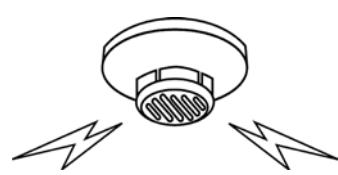
まず寝室に設置を

次に住警器の設置場所について、火災予防条例では『原則として寝室に設置し、寝室が2階以上にある場合は階段上部にも煙式の感知器を設置すること』になっています。

そこで、既に設置された方に条例の規定どおり設置できたか尋ねると『条例の規定どおり(寝室・階段など)に設置したので安心している』と答えた人は290人中101人(34.6%)でした。この数値は、平成26年6月1日現在の全国の条例適合率(66.9%)を大きく下回っています。

住宅火災による死者の多くは、深夜の就寝中に火災に気づくのが遅れ、避難できずに犠牲となるケースです。その中でも、65歳以上の高齢者が6割以上を占めています。

住宅火災による死者を防ぐためにも、条例の規定どおり寝室や階段上部への設置を強く呼びかけたいと思



住警器の維持管理

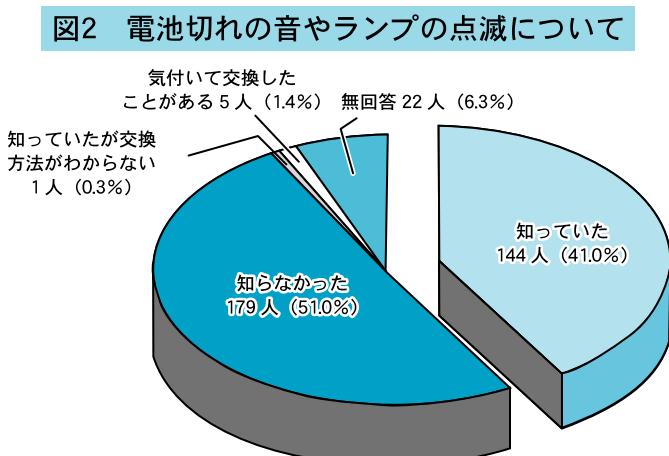
住警器は電池切れが近づくと『火災の音とは違う音で知らせたり、ランプがある場合には点滅して知らせたりしますがご存知でしたか』と尋ねると、「知っていた」という人が144人(41.0%)、「知らなかつた」という人が179人(51.0%)、「知っていたが交換方法がわからない」という人が1人(0.3%)、「気づいて交換したことがある」という人が5人(4.1%)、無回答が22人(6.3%)という結果でした。(図2参照)

続いて、住警器は火災のときにつまんと作動するように、点検ボタンを押したり、引きひもを引いたりして警報音がしつかり鳴るかどうか定期的に点検することが大事ですが『あなたのお宅では点検をしたことがありますか』と尋ねると、「点検したことがある」と答えた人が140人(39.9%)、「点検方法は知つていたが点検したことはない」と答えた人が95人(27.1%)、「点検方法を知らなかつた」と答えた人が50人(14.2%)、無回答が66人(18.8%)となりました。

毎年のように、南但消防本部管内はもちろんのこと、兵庫県内各地から『住警器を設置していたため大事に至らずに済んだ』といった情報が報告されています。その様な情報を持管理に努めていたことが必要となってきた。あつてはならないことですが、万が一火災が発生したときに、しっかりと音が鳴るようにし

住警器の奏功事例

全国で、平成25年中に住宅火災で亡くなつた方(放火自殺者等を除く)は992人でした。大切な命を火災から守るためにも、消防本部では



安心・安全な 街づくりに向けて

消防団や関係機関の協力を得て、住民の皆さんと直接対話する場に積極的に出向いて行きます。そして、安心・安全な街づくりに努めていきた

ておくためにも、今後は、電池切れ・点検方法等についても住民の皆さんに十分な広報をしていきたいと考えています。

◎たばこを吸つたまま寝てしまい、住警器の警報音に気づくと、布団から煙が上がつていたため水道の水で消火した。

◎2階の部屋で電気ストーブをつけたまま就寝中、接していた布団が燃え上がり、1階にいた家人が階段上部の住警器の音に気づき、駆けつけて水バケツで消した。

というような例でした。

また奏功事例以外には、『設置義務の制度が普及する前に、近所で火災による死亡事故があつた。よく知つている方であつたし、警報器があつたらと今でも思つてはいる。そのため、我が家では設置完了している』という意見が今回の調査にありました。

朝来市初の一斉避難訓練実施



▲搬送訓練

8月31日、朝来市で初めての一斉避難訓練が行われました。当日は、大型の台風による大規模な水害を想定し、各地区の自主防災組織等が中心となり、住民8883人が参加し、避難訓練を行いました。

この訓練は、過去に一度も訓練が行われていない地区等には、地域内の組織化や一時避難所の受け入れ方法などの必要性を理解していただきことを、また訓練を重ねてきた地区等には地域内組織の再確認や関係機関等との連絡、連携及び異なる個別訓練を行っていたなどくことを目的に実施されました。



▲救助訓練

朝来消防署は、朝来市より発令される気象・水防、避難情報等により災害警戒本部の設置等初動体制を確立させ、市の災害対策本部との連携及び情報伝達訓練を行いました。



▲トリアージ訓練

傷者に治療や搬送の優先順位を付けるためのトリアージをグラウンドに設けた応急救護所で進め、重症者を救急車で、軽症者をバスで搬送しました。同避難所には避難経路、避難所等を確認しながら165人の近隣住民が集まり、参加者は皆真剣な表情で取り組っていました。

この訓練を通じて、住民一人ひとりが災害に対しても関心を持ち、正しい心構えを身につけておくとともに、地域の方々が日頃から交流を持つことが非常に大切となりました。



▲川東区

八鹿地域のモデル区となつた川東区では避難所に指定されている宿南ふれあい俱楽部に住民約120人が避難した後、けが人の応急手当訓練や地元消防団、市防災協会による土のう作りを行いました。

8月7日、養父市内で水害や地震を想定した一斉避難訓練がありました。訓練は、「地域で協力して地域住民の命を守る」という防災意識を持ち、区民が一体となって防災活動を行えるようにすることを目的に、養父市内の4地域133地区で、住民ら約1万人が参加のもと実施されました。

9月7日、養父市内で水害や地震を想定した一斉避難訓練がありました。

養父市一斉避難訓練実施

張し、住民を助け出す救助訓練や、消防団・救急隊が協力し、救出した多数の負傷者に治療や搬送の優先順位を付けるためのトリアージをグラウンドに設けた応急救護所で進め、重症者を救急車で、軽症者をバスで搬送しました。同避難所には避難経路、避難所等を確認しながら165人の近隣住民が集まり、参加者は皆真剣な表情で取り組っていました。

この訓練を通じて、住民一人ひとりが災害に対しても関心を持ち、正しい心構えを身につけておくとともに、地域の方々が日頃から交流を持つことが非常に大切となりました。

養父地域のモデル区の川東区では、住民約140人が参加し、大震災を想定した訓練が行われました。畠中央公民館に避難した後、初期救援訓練を行ったほか、陸上自衛隊姫路駐屯地から8人の隊員が初参加して倒壊家屋からの救出訓練に加わりました。

8月の台風11号による大雨の際には、川東区などに避難指示が出ており、参加者は真剣な表情で取り組まっていました。

養父地域のモデル区の畠中央公民館に避難した後、初期救援訓練を行ったほか、陸上自衛隊姫路駐屯地から8人の隊員が初参加して倒壊家屋からの救出訓練に加わりました。

8月の台風11号による大雨の際には、川東区などに避難指示が出ており、参加者は真剣な表情で取り組まっていました。

養父消防署は、モデル区の川東、畠区等にそれぞれ職員を派遣し、AEDを使用した心肺蘇生法の展示、負傷者の応急手当や搬送方



▲畠区

平成26年度 防火ポスター入選発表



最優秀賞



【中学校の部】
和田山中学校2年
日原めぐみ



【小学校の部】
糸井小学校1年
福富美咲



『わたしは、なつやすみにぼうかボスターをかけました。わたしとしようとしょのえにしたいとおもいました。わたしは、ひがきえるまでどこにもいかないよっていっています。かじはとってもこわいです。』

『最優秀賞の受賞ご聞き、驚きながらもとてもうれしく思います。この作品は、電話で目を離した隙に鍋から燃え広がる炎をイメージして、見やすくなるよう描きました。見た人が防火について考え自分自身の近くにある事として感じていただければと思います。』

◆優秀賞	
◆南但危険物安全協会長賞	9名
◆朝来市消防団長賞	9名
◆養父市消防団長賞	9名
◆小学校の部	9名

◆優秀賞	
黒柿貴大	梁瀬小学校2年
勝山百音	八鹿青渓中学校3年
加藤有希菜	八鹿青渓中学校3年
梁瀬小学校2年	梁瀬小学校2年

特別賞

夏休み中に、養父市・朝来市内の小学校及び中学校の児童、生徒から募集した防火ポスターは、総数で140点（小学校431点、中学校709点）の応募がありました。	9月25日に南但消防本部で行われた審査会の結果、力作ぞろいの作品の中から次の皆さんに入選しました。
小野山珠々	田中友
中島紗也佳	一ノ本禪都
田中廣谷	中島紗也佳
梁瀬花音	田中翔太
梁瀬愛梨	谷垣翔太
梁瀬6年	田中翔太
梁瀬6年	谷垣翔太
足立彰	田中翔太
羽渕直子	谷垣翔太
澤田茉奈果	田中翔太
(生野3年)	(生野3年)
井本佳和	谷垣翔太
井本佳和	田中翔太
18名	田中翔太

◆優秀賞	
◆中学校の部	12名
◆小学校の部	6名
◆中学校の部	12名
◆小学校の部	6名

日原めぐみさんの作品は中学生らしく洗練された配色のデザインで、みれた人に火災の怖さ、防意識を高めることの大切さをストレートに力強く伝えるポスターです。どの入賞作品も工夫して描かれ、人々に防火を訴える力のある作品ばかりでした。

福富美咲さんの作品は小学1年生らしい明るく元気いっぱいのポスターです。大人も子どもも一緒にになって、みんなで防火意識を高めていくこうとしました。福富美咲さんの作品は今年も養父市・朝来市の小中学校からたくさんのお作品が寄せられました。どの作品も自分の視点を大切にして描かれており、審査会場はたくさんのが輝く個性でいっぱいになりました。

審査員所感

消防写真館




消火訓練

(7月15日 (株)オーシスマップ)

社員全員が無事屋外に避難した後、実際に粉末消火器で火を消し、次いで屋外消火栓の取扱い訓練を行いました。



避難訓練 (6月23日 養父中学校)

生徒たちは煙が立ち込める中、暗い教室を落ち着いて避難しました。避難した校庭では、皆で火災が発生した時の注意点を確認しました。



消火訓練 (9月17日 あさご長寿苑)

福祉施設の防火研修で初期消火の大切さを確認した後、参加した全職員が訓練用の水消火器で手順を習得しました。



防災訓練 (10月4日 公立八鹿病院)

朝来市で発生した強い地震が影響し、多数の人が発生したとの想定で訓練を実施しました。災害拠点病院として、多数傷病者受け入れまでの行動を確認しました。

出場件数は230件で、前年同期と比較して110件で搬送人員で79人増加しています。

※出場件数・搬送人員
共に増加

救急

署別 種別	総 数	朝来署	養父署
総 数	28 (32)	18 (20)	10 (12)
建 物	12	10	2
林 野	1	1	—
車 両	1	—	1
その 他	14	7	7

()内は前年同期件数

出火件数は両市合わせて28件で、前年同期と比べると4件減少しています。物火災が発生しました。朝来では9月に、建そ

※前年同期に比べ減少

火災

消防白書

平成26年
1月～9月

署別 種別	総 数	朝来署	養父署
総 数	45 (62)	18 (33)	27 (29)
交通事故	31	14	17
機 械	2	—	2
その 他	12	4	8

()内は前年同期件数

出場件数は45件で、 救助しました。 27人	※交通事故が多 助
------------------------------	--------------

署別 種別	総 数	朝来署	養父署	管 外
総 数	2,308 (2,198)	1,185 (1,121)	1,120 (1,074)	3 (3)
急 病	1,353	738	615	—
交通事故	226	130	93	3
一般負傷	383	173	210	—
その 他	346	144	202	—

()内は前年同期件数



普通救命講習会 (左:7月15日 東河こども園、右:9月2日 養父婦人防火クラブ)

左：こども園教員が万が一に備え、体の小さな園児の心肺蘇生法とAEDの使い方を習得しました。

右：婦人防火クラブ員を対象に(財)日本防火・防災協会後援事業で応急手当の普及啓発を目的として普通救命講習を行いました。

消防訓練 (8月29日 和田山高校)

2学期の始業式の後、火災時の避難訓練を実施しました。避難後の校庭で生徒代表が水消火器の使い方を習い、放水しました。



水難救助合同訓練

(6月23日 和田山円山川)

水難事故に備え、朝来警察署と合同でボートを使った救助訓練を行いました。対岸で助けを求める人達を安全に助け出しました。

露店等の防火指導

(7~8月 左:八鹿夏祭り、右:和田山地蔵祭り)

7月の火災予防条例の改正をうけ、夏祭りなど多数の人が集まる催しで火気を取り扱う露店を対象に防火指導をしました。消火器が正しく設置されているか、LPGボンベの転倒防止がされているか等を点検し、安全な夏祭りに努めるようお願いしました。

- 猫よけなどに置かれた水
- の入ったペットボトル
- 自動車等のガラスに張り付ける透明な吸盤
- 金魚鉢、ガラス玉(水晶玉)

皆さんは「收れん火災」という言葉をご存じでしょうか。「收れん」とは「光を一点に集める」という意味の言葉で、太陽の光が虫眼鏡のような凸レンズを通して一点に集中し、可燃物などを発火させることで起る火災を「收れん火災」と呼びます。また、凸レンズだけでなく、光を反射する凹レンズが原因でも起こります。皆さんも小学校の理科の実験として、虫眼鏡で光を集めて紙を焦がした経験があるのではないでしようか。あの現象は凸レンズの收れん効果を利用した実験です。あのような現象が何らかの理由で意図せずに発生し、火災を引き起こすことがあります。

聞きなれない火災原因ですが、レンズ等と同じ働きをするものであれば、身近なものが收れん火災を引き起こす原因となります。代表的なものとしては、

とがあります。

を置かなければ、火災を発生させないために、建物周囲や太陽光の差し込む室内に「收れん」を起こしやすい物を置かないようにしたり、近くに燃え

やすい物を置かないように注意します。



- メガネ、虫眼鏡、凹面鏡
- ステンレス製の食器ボウル
- 自動車用のメッキアルミホイール
- ピニールハウスの天井部 分に溜まつた水

冬の「收れん火災」に注意！

火災調査レポート

お知らせ

INFORMATION

◆新入職員紹介

平成26年4月から新しく7名の職員を採用しました。この内6名が、三木市の兵庫県消防学校で半年間の研修を修了し、帰任しました。

平成26年4月から新しく7名の職員を採用しました。この内6名が、三木市の兵庫県消防学校で半年間の研修を修了し、帰任しました。

上記写真

前後右から	藤原	大地
古川	小森	米田
谷野	垣田	大樹
後列右から	友助	元太
岸谷	雄大	光希
矢野	敬徳	大地
24歳	20歳	21歳
20歳	19歳	21歳

4月から朝来消防署で勤務している米田消防士と共に、地域の安全・安心と市民の生命・財産を守るため、日々精進し、頼られる消防士になれるよう頑張りますので、よろしくお願いします。

◆大屋出張所改修工事完了

養父消防署大屋出張所は、平成26年3月10日から耐震化に伴う改修工事を行つていきましたが、平成26年8月19日に工事が完了し業務を開始しました。



養父消防署大屋出張所
新庁舎

◆普通救命講習

心肺蘇生法やAEDの使用方法など、救急車が来るまでの応急手当を学びませんか。

・場所：養父消防署
・日時：1月31日（土）9時から12時

・定員：20名
・受付：1月23日（金）まで

◆秋の火災予防運動

11月9日から11月15日までの7日間、全国一斉に秋の火災予防運動を実施します。朝来消防署、養父消防署ともに火災ゼロに向け、万全の態勢で臨みます。

『もういいかい
火を消すまでは まあだだよ』
11月9日～11月15日

主な行事予定

- 一日消防官 こども園訪問
- 消防訓練 和田山・山東・養父地域
- 立入検査等 旅館・危険物施設の査察
- 消防教室 学校・事業所・各地区
- 広報活動 防火ポスターの配布
- 防火研修 市内の旅館・ホテル

編集手帳

この夏、久し振りの晴れ間に花火大会へ家人と一緒に車で出掛けました。事前に駐車場を確認していましたが、その駐車場は満車で、道が狭くなり多数の歩行者となり次の駐車場もわからず不安でした。その時、消防団員の適切な誘導で無事駐車場に車を止め、豪華な花火を見ることができました。

8月17日早朝、花火のような凄まじい雷の光と音でたたき起こされました。寝室は昼間のように明るく、窓ガラスに激しく打ち付ける雨、揺れる家。携帯電話には消防署から「自宅待機命令」等、次から次へとメールが届きます。案の定、丹波市、福知山市に記録的豪雨で甚大な被害をもたらしました。自然災害の恐ろしさを思い知られました。

来年、阪神淡路大震災から20年になります。地震の備えを忘れずにしてください。

(イ)

森の消防署



NANTAN

119なり

NANTAN 119だより第5号

2014年11月1日発行（年3回発行）

■発行・編集
南但消防本部予防課
兵庫県朝来市
和田山町枚田436-1
■TEL 079-672-0119
■FAX 079-672-5046

南但消防本部